

令和2年度 学校評価報告書

丹波篠山市立城北畑小学校

校長 藤本 健

1 学校教育目標等

互いに尊重し、共に学び、自律した子どもの育成

2 今年度の重点目標

- ① 「対話的・主体的で深い学び」に繋がる「話し合いと聞き合い」の授業を創造する。
- ② 個々人の内面への共感的な理解を深め、児童のよさを発揮させる生徒指導を展開する。
- ③ 学校だよりの発行により、保護者及び地域住民に教育活動を広く提供する。

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
学校経営	・校長の教育目標達成に向けたリーダーシップが発揮できたか。	C	○重点目標として、算数科指導において「深い学び」に繋がる授業の創造を掲げて研究を重ねてきたが、筋道を立てた児童の発言、理由を付けた発言、接続詞等を使った発言が少ない。児童の発信力を付けるためにも校長による職員への助言をもっと増やしていく必要がある。来年度も算数科の研究を継続して取り組んでいく。
	・学校便りや学級便りの発行など、保護者及び地域住民に教育活動を発信できたか。	B	○各担任による学級便りを週1回発行しているが、行事の羅列にだけならぬように指導している。学級への思い、経営方針等も伝える必要がある。学校便りは、毎月3枚程度は発行している。授業を参観し、取組の様子やめざす児童像等を発信するよう心がけている。また、その都度ホームページにもアップするなど、情報を積極的に提供している。
学習指導	・視聴覚教材等を活用するなど、分かりやすい授業を展開しようとしたか。	B	○どのクラスも書画カメラ、タブレット等を常時活用しながら児童の学びを支援している。 ○算数科のアンケート結果では、2年生以上の80%が「よく分かる」と回答しているなど、取組の成果が表れている。
	・体験的な学習が展開できたか。	C	○「ふるさとガイドブック」による各学年の体験学習を予定していたが、コロナ禍のため全学年活動することができなかった。3年生においては、農業委員さんの指導を受けながら、黒枝豆の栽培活動から収穫、販売まで完遂することができたのが大きな成果であった。児童も積極的に働きかけ

			ようとした。
生徒指導	・生徒指導に取り組む体制が整備され機能されていたか。	B	○生徒指導は、児童がよりよく生きるための機会、社会性を培う機会、という基本的な関わり方を共通認識することができた。 ○担当者を中心に、積極的な認知と、未然防止、早期発見、早期対応という鉄則を徹底することができた。
	・保護者と連携しながら、基本的な生活習慣を身に付けさせる工夫ができたか。	B	○家庭学習、朝食、地域でのあいさつ、読書活動等について、保護者アンケートを実施し、集約と分析結果、今後の取組方針を保護者へ情報提供している。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

<p>○昔の授業形態と今では随分違うように思う。情報化が一段と進む中で育った子どもたちへの対応も難しいと思われるが、今までどおり頑張してほしい。</p> <p>○生徒指導というと、悪い行為を正すというイメージしかないかもしれないが、よい行為をした時もみんなの前で褒めてほしい。</p> <p>○情報提供はよくしていただいている。ホームページにも出ているのでいつでも見ることができる。今後も積極的に流してほしい。</p>

(2) 総合的な評価（意見・感想）

<p>○新型コロナウイルス感染防止に対する様々な対応がなされている。学校現場も授業との両立で大変だと思うが、安心安全な学校生活を送ることができるよう努めてほしい。</p> <p>○時代とともに読書離れが進んでいるように思う。塾通いや習い事、社会体育等、子どもも忙しい毎日を送っているが、読書好きな子どもを育てるには、どうすればいいのか。</p>
--

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学校経営	<p>○理論だてて意見するのは素晴らしいことだと思う。少しずつ積み重ねていってほしい。また、活字離れが進んでいると思われるので、読書の時間を充実させてほしい。</p> <p>○自分の考えを相手に伝えることは、日本人にとってやや苦手になっている。外国のようにディスカッションできればいいのだが。</p>
学習指導	<p>○情報機器を使って授業をされているのはよいことだと思う。子どもも集中して学習ができていないのではなか。</p> <p>○今年度は、コロナ禍で体験活動をはじめ学校行事にも様々な制約があったのではないかと。その中で3年生の活動ができたのは大変よかったと思う。農業委員さんの他、たくさんの応援団がいるので、いつでも呼びかけてほしい。</p>
生徒指導	<p>○毎月10日を基準日とした「コミスクあいさつ運動」（今年度は10月から実施）では、子どもたちが大きな声であいさつしてくれた。学習も頑張ってくれているのではないかと。学校からの帰り道でもよくあいさつをしているので感心している。</p> <p>○家庭との連携が大切であるので、今後とも学校からの発信をお願いしたい。</p> <p>○今年は無理だったかもしれないが、講師さんを招いて情報機器の正しい使い方等を教えてもらう時間を確保してほしい。</p>